

Lasius niger

(Linnaeus, 1758)

順応性が高く手がかからず、ほとんどの庭で見つかる定番の最初のコロニーです。



ひと目でわかる情報



巣の温度

23–25 °C

巣の中



巣の湿度

40–60 %

巣の中



休眠

8–12 °C

10月–3月



結婚飛行

7月–8月

暑い日、穏やかな天気



働きアリ

3–5 mm

どれも同じ大きさ



女王

8–9 mm

女王は1匹



コロニーの規模

まだデータがありません

成長速度：普通



脱走リスク

中程度

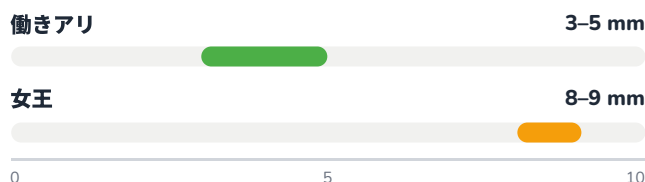
アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう

1年をひと目で



月は温帯ヨーロッパと地中海地域の目安です。正確な日は天気で決まるため、お住まいの地域では飛行が早まったり遅れたりすることがあります。

同じ縮尺での大きさ



飼育の早見表

食べ物

砂糖

昆虫

おすすめの巣

1. サンドイッチ型の巣
2. Ytongの巣
3. アクリル製の巣

この評価の理由

- ✓ 完全閉鎖型：最初の働きアリが現れるまで、女王に餌は不要です
- ⚠ 好奇心が強い働きアリなので、アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう

私のコロニーから

ヒント

土を使ったサンドイッチ型の巣なら、自分でトンネルを掘る様子を観察できます。白いYtong製の巣なら、黒い働きアリがくつきり目立ちます。

注意

乾燥した空気が苦手なので、巣がすぐ乾いてしまうときはセットアップを見直すか、水分を保つ木片や樹皮を加えましょう。